



「夏休みの学びを力に ～地域の力で育む子どもたち～」

厳しい暑さが続いておりますが、保護者の皆様、地域の皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

39日間の夏休みが終わり、学校には子どもたちの元気な声が戻ってきました。休み中には、家族との時間や地域での活動、さまざまな体験を通して、多くの思い出や学びを得たことと思います。その一つ一つが、子どもたちの成長につながる大切な経験です。

さて、夏休み中の7月27日・29日の2日間、「あやの台小学校サマーチャレンジ」が開催されました。今年は全16講座を開設し、のべ247人の子どもたちが参加して、さまざまな体験活動に取り組みました。

外部講師の皆様による「わくわく科学教室」「絵画教室」「剣道教室」「木エブックエンド」「クラフトプレーン」「レザークラフト」「オムレツチーズブリュレクレープ」「バーコードホルダーモリドール作り」をはじめ、こども応援隊による「カプセルクラゲ」「ソルトキャンドル」、カプラ隊による「カプラ」、本校教職員やICT支援員による「麻雀教室」「ペットボトルキャップ工作」「パソコン教室」など、多彩な講座が実施されました。

今年は初めて開設された講座もあり、昨年度から継続してご協力くださっている講師の皆様も、新しい内容を工夫して準備してくださいました。実施日数は昨年度より1日少ない中でしたが、講座数は1つ増え、子どもたちの学びの機会はさらに広がりました。

それぞれの講座では、集中して課題に向き合う姿、試行錯誤しながら粘り強く取り組む姿、仲間と協力しながら楽しそうに活動する姿など、多くの生き生きとした表情を見ることができました。学校だけでは得ることのできない貴重な体験は、子どもたちにとって夏休みの大切な思い出となり、これからの学校生活や学習にも生かされることと思います。

サマーチャレンジは、講師の先生方やサポーターの皆様、保護者ボランティア、学生ボランティアなど、多くの方々のご協力によって支えられています。企画・運営に携わってくださった皆様、子どもたちを温かく見守り、ご指導くださった皆様に心より感謝申し上げます。

学校教育は、学校だけで成り立つものではありません。保護者や地域の皆様とのつながりの中で、子どもたちは多くのことを学び、成長しています。サマーチャレンジは、地域全体で子どもたちを育てる「あやの台の力」をあらためて実感する機会となりました。

また来年度、「子どもたちに何か教えてみたい」「ボランティアとして活動を支えてみたい」と思われる方がいらっしゃいましたら、ぜひ学校までご連絡ください。皆様のお力添えをお願いいたします。

夏休み明けには修学旅行や民泊体験をはじめ、多くの行事や学習活動を予定しています。子どもたちには、夏休みに得た経験や学びを力に変え、一つ一つの活動に主体的に取り組みながら、さらに成長してほしいと願っています。

まだまだ暑い日が続きますが、「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけ、健康管理に十分気を付けながら充実した学校生活を送ってほしいと思います。

保護者の皆様には、夏休み期間中の温かな見守りとご家庭でのご協力に心より感謝申し上げます。今後とも、本校教育活動へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。